次回は、R7年10月14日火曜日の発行です。

週間漁海況情報　2025年第40号

令和7年10月7日発行

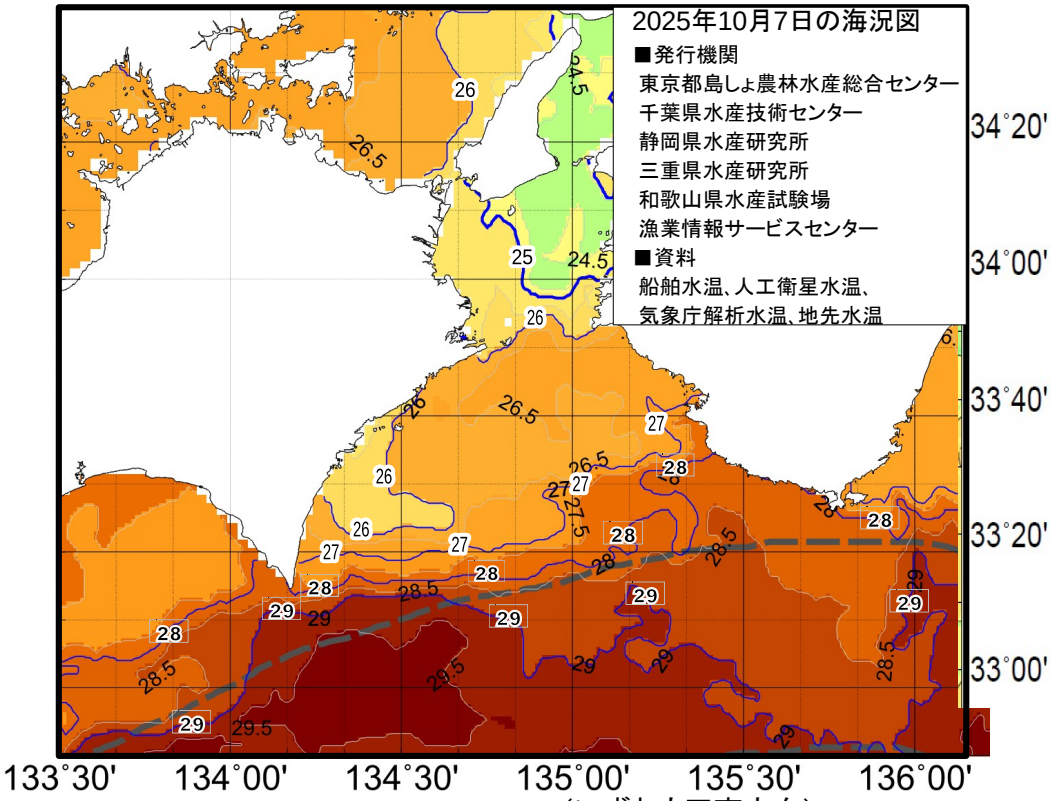
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖20マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で25～26、紀伊水道で24～25、海部沿岸で25～26℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現　（いずれも正南方向）
　室戸岬沖　接岸：～25NM　やや離岸：25～45NM　離岸：45～65NM　著しく離岸：65NM～
　潮岬沖　　接岸：～26NM　やや離岸：26～56NM　離岸：56～86NM　著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

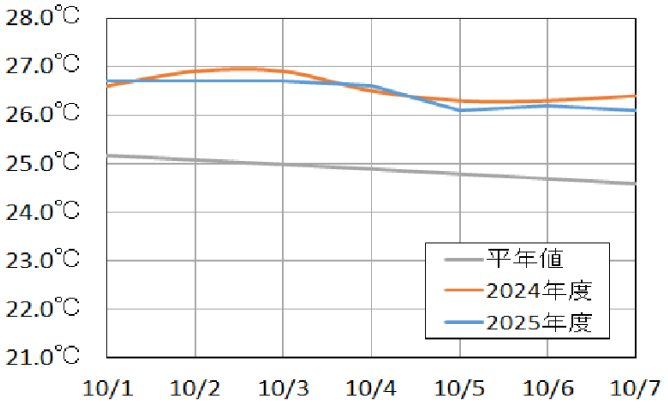
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温（10月1日～10月7日　浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。）

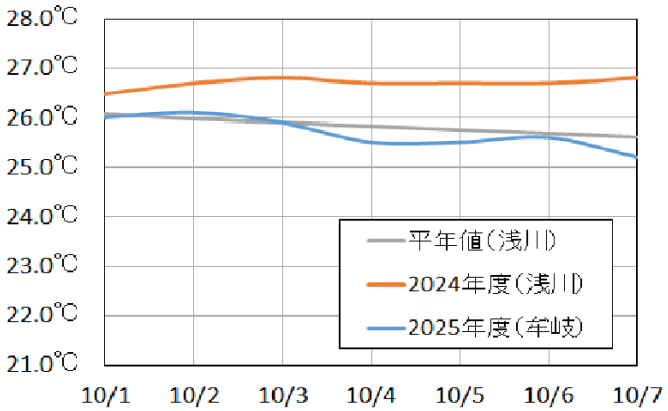
鳴門地区の水温は、26.7～26.1℃で「高め」から「やや高め」で推移。牟岐地区は、26.1～25.2℃。

鳴門と牟岐地区の水温差は、-0.6～-1.1℃だった。

鳴門地区



牟岐地区（昨年値と平年値は浅川地区）



※水温の高低　平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
　高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃ 以上
※ 平　年　値　1984年～2022年（鳴門）、2018年～2022年（浅川）の平滑平均値（いずれも日平均水温を使用）

3. 週間予報（10月8日～10月14日）

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」から「やや離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況（9月29日～10月5日）

１．紀伊水道（標本漁協：４）
船びき網では、シラスが増えて89.1ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、サワラが大きく増えて3.4ﾄﾝ、ハモが大きく減って中主体に1.2ﾄﾝ、
あまだい類が0.7ﾄﾝ水揚げされた。
底びき網では、えそ類が増えて2.4ﾄﾝ、イボダイが大きく減って1.9ﾄﾝ、
ハモが中主体に1.4ﾄﾝ、クマエビが増えて0.5ﾄﾝ、いとより類が増えて0.4ﾄﾝ、
かます類が減って0.2ﾄﾝ水揚げされた。
建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.8ﾄﾝ、
メジナが大きく増えて0.2ﾄﾝ水揚げされた。
小型定置網では、マアジが減って豆あじ級主体に1.7ﾄﾝ、マルアジが小主体に1ﾄﾝ、
カンパチが0.2ﾄﾝ水揚げされた。

２．海部沿岸（標本漁協：４）
釣りでは、キハダが増えて2ﾄﾝ水揚げされた。
延縄では、キダイが増えて大主体に0.3ﾄﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数（のべ）	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり平均漁獲量	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	98	シラス	89,100	909		↗
	延縄	42	サワラ	3,423	82		↗↗
		24	ハモ	1,206	50	中主体	↘↘
		54	あまだい類	654	12		→
	底びき網	25	えそ類	2,423	97		↗
		18	イボダイ	1,872	104		↘↘
		21	ハモ	1,410	67	中主体	→
		21	クマエビ	534	25		↗
		20	いとより類	439	22		↗
		21	かます類	241	11		↘
	建網	85	カワハギ	842	10	大主体	↗↗
		40	メジナ	222	6		↗↗
	小型定置網	20	マアジ	1,743	87	豆あじ級主体	↘
		19	マルアジ	958	50	小主体	→
		14	カンパチ	231	17		→
海部沿岸	釣り	20	キハダ	1,954	98		↗
	延縄	8	キダイ	274	34	大主体	↗

※ 前週比　200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘